

KCAA

*Kansai
Collegiate
Athletic
Alliance*

一般社団法人 大学スポーツコンソーシアムKANSAI

大学が保有する大学スポーツの英知を様々な関係者と共有し、大学スポーツの健全な発展、ひいては関西地域の活性化を目指します。

大学スポーツは、様々な課題を抱えながらも、我が国のスポーツ振興のみならず、将来を担う若者の人格陶冶や人材育成において、重要な役割を担ってきました。しかしながら大会やリーグ戦の開催日程や各地区の選抜選手による強化合宿の日程調整などについては、単独の大学が競技団体と交渉して実施することは容易ではありません。

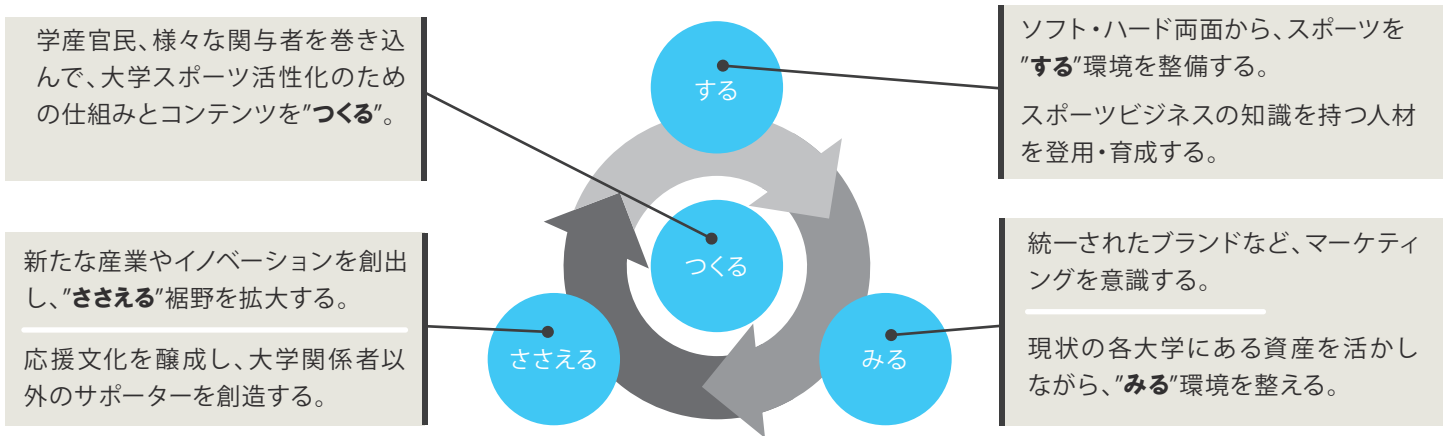
また、未来を担う「人財」を育成する高等教育機関として大学が担う公共的な役割は国公立大学だけではなく、私立大学も含めて互いに競い合い高め合う、強い信念に基づいたネットワーク組織の形成が求められます。

つまり、各大学がこれまで高等教育機関として積み重ね、蓄積してきた大学スポーツにかかわる英知を、健全なる大学ス

ポーツの機能化のための「共通の財産」として分かちあいながら、様々な関係者とも連携して、さらなる大学スポーツの発展をめざすための「仕組み」を構築する必要があります。

これまで関西地区の複数大学が、大学スポーツ振興にかかわる会議や検討会を重ねてきましたが、今後は1つでも多くの大学がこの密接な連携に加わることが望ましいです。このようにして大学間の英知が結集することで、大学スポーツの課題が解決され、これによって関西地区の活性化にも貢献することができると考えています。

このような信念に基づく大学横断型の連合体組織・機構として、「大学スポーツコンソーシアムKANSAI(以下、コンソーシアムと記す)」を創設するに至りました。



事業計画 — 4つの柱 — 各大学が蓄積してきた英知を共有しながら、4つの柱を軸とした横断的な事業を展開します。

- 1 多様なステークホルダー間の情報共有・連携・協力を促進するプラットフォームの形成

 - コンソーシアムの信頼創造
 - 学生連盟・競技団体・民間企業との関係構築(スポーツイベントの実施等)
 - 他地区における統括組織との連携
- 2 社会を牽引し、未来を託せる「人財」の育成

 - ライフスキルプログラムの開発・共有・実施
 - キャリア教育プログラムの開発・共有・実施
 - スポーツ・アドミニストレーター育成
- 3 大学スポーツの振興と発展に資するスポーツガバナンスの構築

 - 傷害防止と安全・安心な活動環境整備のための取り組み
 - ロールモデルとなるアスリート像のデザイン
 - スポーツ局・学生連盟・競技団体との連携による財務・資産管理システム構築
- 4 大学スポーツの社会的・事業的価値の向上

 - 「見る」スポーツの振興(ホーム&アウェーによる対抗戦実施、応援文化醸成等)
 - ホームページ作成、メールマガジンや映像配信、SNS
 - 大学への愛着心とつながりを生む大学スポーツのブランディング強化

大学スポーツ奨励賞 各大学の大学スポーツ活動のモデルと成りうる実績を有する個人の活動実績を顕彰し、今後の活動を奨励します。

応援促進プログラム 学生スポーツ観戦に対する価値向上・日常化文化の醸成を目指して、KCAA正会員校による対抗戦の企画実施にかかわり、学生・地域住民とともにホーム校をサポートします。

学 産 官 民

競技団体 企業 医療機関

Phase-3

学 産 官 民

学生/教育機関 自治体 地域住民 ファンクラブ

Phase-2

学

学生/職員 OB/OG 友人/家族

Phase-1

●ビジネスモデルの創出

- ・大学スポーツ資産のプロフィットセンター化

●大学スポーツを起点としたスポーツ産業・健康コミュニティ創生

- ・産業の振興とイノベーション創生
- ・大学スポーツの活性化

●“みる”スポーツとしての認知

- ・大学スポーツ施設の“みる”施設化
- ・大学内外の様々な関係者の取り込み
- ・オリジナルコンテンツの開発
- ・SNSなど情報発信の強化

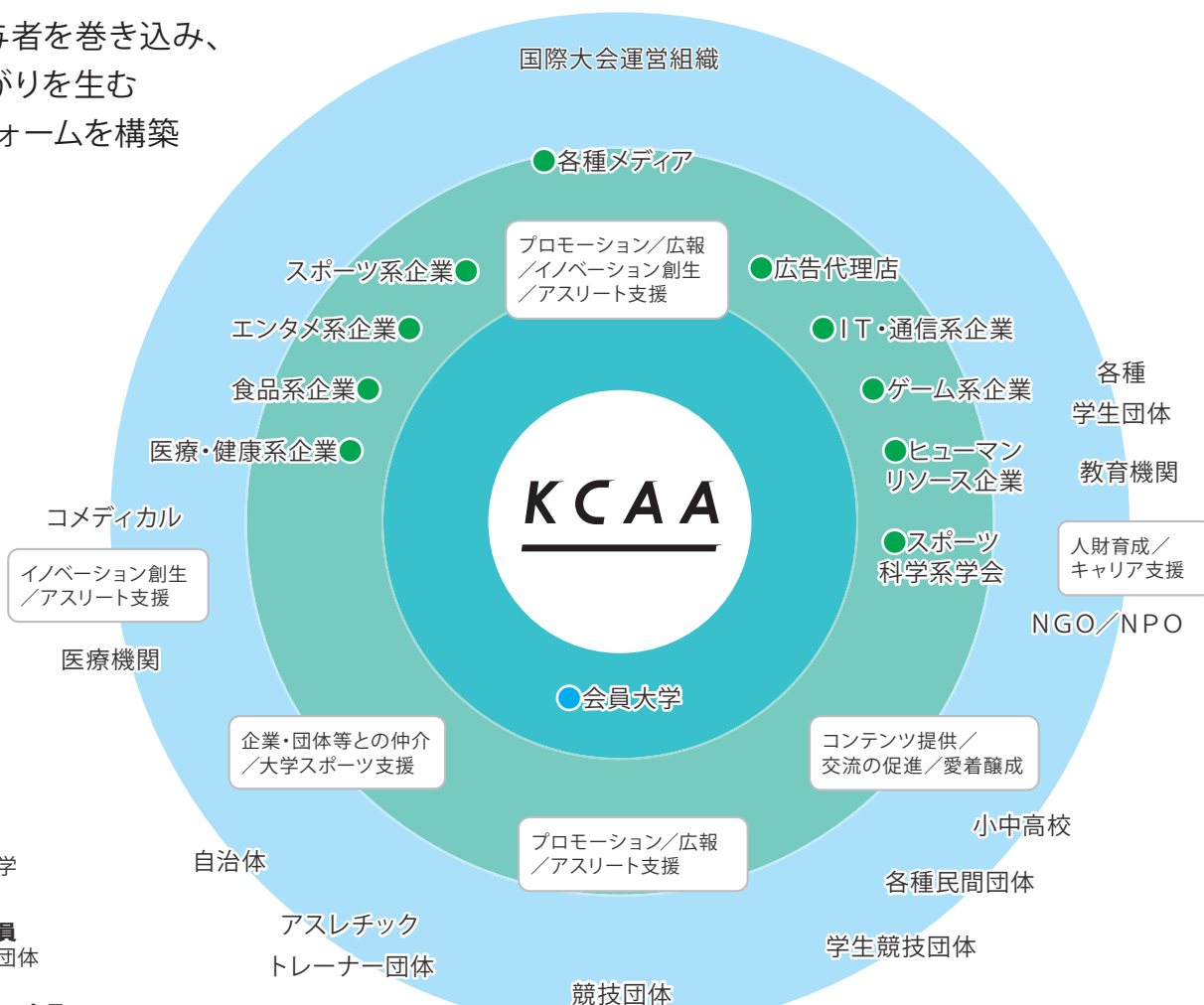
●産官民との協働を開始

- ・大学の持つ“知”を共有
- ・企業、自治体、地域との連携強化

●大学スポーツ改革のための準備

- ・スポーツ局/スポーツ・AD/SAの設置
- ・ブランドの統一
- ・ガバナンスの強化
- ・コミュニティづくり
- ・大学間での機運醸成
- ・協働のためのプラットフォーム整備

様々な関係者を巻き込み、事業の広がりを生むプラットフォームを構築



- 正会員**
会員大学
- 賛助会員**
企業/団体
- パートナー会員**
学連/学生団体/自治体/
教育機関/国際大会運営組織等

役員体制・事務局体制

法人名	一般社団法人 大学スポーツコンソーシアムKANSAI	
所在地	滋賀県草津市野路東1-1-1 (立命館大学)	
会長／代表理事	伊坂忠夫 (立命館大学)	
理事	藤本淳也 (大阪体育大学) ※副会長 東 潤一 (大阪商工会議所) 上田滋夢 (追手門学院大学) 齋藤好史 (大阪産業大学) 佐川和則 (近畿大学) 高田義弘 (神戸大学大学院) 橘 知孝 (関西経済連合会) 富田英司 (大阪弁護士会・弁護士)	中西純司 (立命館大学) ※事務局長 灘 英世 (関西大学) 花内 誠 (一般社団法人スポーツと都市協議会) 藤林真美 (摂南大学) 松永敬子 (龍谷大学) 柳田昌彦 (同志社大学)
専門アドバイザー	安達知希 (株式会社電通 関西支社)	
監事	岡本大典 (大阪弁護士会・弁護士) 川方裕則 (立命館大学) 神崎素樹 (京都大学)	
事務局	立命館大学スポーツ強化オフィス (業務委託)	
設立	2018年4月10日	
会員 2022年5月31日時点	<p><正会員> 追手門学院大学、大阪学院大学、大阪経済大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪体育大学、大阪電気通信大学、関西大学、関西学院大学、近畿大学、甲南大学、神戸学院大学、神戸大学、四国大学、四天王寺大学、摂南大学、園田学園女子大学、天理大学、同志社大学、阪南大学、びわこ成蹊スポーツ大学、立命館大学、龍谷大学</p> <p><賛助会員> アシックスジャパン株式会社、一般社団法人S.E.A、MGスポーツ株式会社、大阪ガスネットワーク株式会社、株式会社学生情報センター、京屋鉛株式会社、株式会社神戸製鋼所、株式会社サカイ引越センター、株式会社STEAM Sports Laboratory、株式会社スポーツフィールド、セノー株式会社、株式会社電通 関西支社、東亜道路工業株式会社 関西支社、株式会社ニチレク、日本製鉄株式会社、株式会社報知新聞社、株式会社マイナビ、株式会社三菱UFJ銀行</p> <p><パートナー会員> 公益財団法人大阪観光局、大阪商工会議所、大阪弁護士会、関西学生放送連盟、公益社団法人 関西経済連合会、関西広域連合、京都大学体育会、一般社団法人全日本フルコンタクト空手コミッション、東大阪市、公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会</p>	

ご入会について

大学スポーツコンソーシアムKANSAIへの入会は設立趣意に賛同いただける大学及び企業様からのお申し込みを承っております。(随時)

正会員	体育会・課外活動団体支援など、大学スポーツ振興関連部局・窓口があり、担当スタッフが配置されている大学。 (年会費：10万円)
賛助会員	コンソーシアムの趣旨に賛同し、掲げられた目的・事業の遂行に寄与する企業様。 (年会費：10万円)
パートナー会員	コンソーシアムの趣旨に賛同し、掲げられた目的・事業の遂行に主体的に協力する団体様。 (年会費：なし)
右記URLより加入申込書をダウンロードしていただけます。	https://www.kcaa-jp.org/join-us

